

2025年3月度 はちおうじっ子の新学期応援プロジェクト ご報告

コロナ禍中は「はちおうじっ子のコロナに負けるな！応援プロジェクト」を7回にわたって実施、延べ1090世帯、2124人のこどもたち（15歳以下のみ）へ、食品をお届けしました。

昨年からは名称を変え、新たに「新学期応援プロジェクト」として、昨今の物価高、新入学や進級など物入りなこの時期に、お子さんのいらっしゃるご家庭を応援したいと、年1回春に実施しています。今回も市民の皆さま、企業、団体の皆さまのご支援と補助金などを活用しながら実施いたしました。

最近の物価高騰、特にお米の値上がりで買うのを躊躇してしまう、こどもに食べさせたいが満足に食料を替えない…といったコメントがたくさん届き、育ち盛りのこどもたちに栄養のあるものを十分食べさせたいと思いながらも苦慮されている様子がうかがえます。

今年は100世帯、161人（15歳以下のみ）のこどもたちに食品をお送りすることができました。皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

スケジュール

- 3月1日 「はち☆エール」への掲載
- 3月1日～9日 配送家庭の募集
- 3月16日 梱包・配送作業
- 3月22日 配送終了

応募状況

八王子市の一人親向けメールマガジン「はち☆エール」と、SNSで広報を行いました。今回の応募総数は190世帯、昨年の137世帯に比べて大幅に増え、応募開始の3月1日だけで135件のお申し込みがありました。「はち☆エール」での広報が中心だったためか、一人親世帯からの応募が8割ありました。児童扶養手当、就学援助手当の受給者を中心に100世帯に送付、一人親世帯が9割、その他、2人親家庭でも就学援助手当を受けている世帯、いずれの手当も受けていない世帯へもコメント等を加味して配送しました。

応募者の居住地域は中央・西部・西南部・北部・東南部・東部の6地域、満遍なくありますが、西部地域と東部地域が若干多くなっています。

コメントにはやはり物価高で苦しいと書かれている方がとても多いです。育ち盛りのこどもたちには十分食べさせてあげたいという親御さんの想いがひしひしと伝わってきました。

《コメントの紹介》

わたしの収入が低いのと、物価や野菜の高騰もあり、なかなかこどもたちに食べさせたいものが用意できず、だいたい同じメニューになってしまいます。本当はいろいろな野菜を食べさせたいのですが「もやし」ばかり…。	家を賃貸する資金がないため実家に間借りしていますが、高齢の親の介護があり、十分に働くことができず、生活が非常に苦しい状態です。
食べ盛りなのに、おかずを1品くらいしか用意してあげられないのが辛いです。野菜も高くなっているので本当に困っています。	お米が高くて買えない。こどもが小麦粉を食べると湿疹、体調不良になるので、今のお米がなくなるとどうするか…自分はあまり、お米を食べないようにしてはいるものの悩み中
いつも思うことは、お米等が高騰しているなかで、生活保護や非課税世帯にばかり給付金がばらまかれています。一人親に限らず、頑張って働いて税金を納めている人が一番苦しい生活を強いられていると感じています。	入学準備があり、時間にもお金にも余裕がなく焦っています。このまま食糧品が高騰するとこどもの栄養的に心配です。
	介護職で働いていますが給料が少なく、長く働いていても昇給もなく生活がつらいです。





2025 年4月 フードバンク八王子